



延喜式内名神大社

# 生島足島神社便り

## 第 64 号



ごあいさつ (暦と厄と年祝い) ..... 2

夏詣で/境内環境整備 (神池の水抜き/枯れ木の伐採) ..... 3

山崎宮司就任披露パーティー ..... 4

12月~4月までの祭事・行事予定 ..... 6

新任のあいさつ/お正月の案内 ..... 7

縁起物のご案内/新年福ダルマ授与について/お知らせ ..... 8



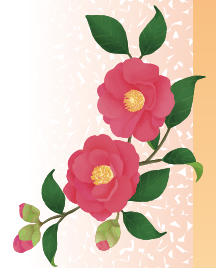
QRコード  
携帯電話、スマホにて簡単に  
ホームページにアクセスできます。



QRコード  
「参拝の作法と参拝順序」  
まいぶれ上田・東御にアクセスできます。

# ごあいさつ

## 暦と厄と年祝い



宮司  
山崎洋文

新しい年を迎えるとカレンダーを新しく掛け替え、新しい暦を求め、迎える年はどんな年かな、いい年でありますようにと願います。

生島足島神社の東門を入った所に、祝年、厄年早見表をあたらしく掛け替えました。大勢の参拝者の皆様が熱心に観ておられます。表に自分の生年をみつけるとなんとなく心配になってどうしようと思われ不安になる方もいらっしゃると思います。厄除けのご祈禱をしていただけたらすべて解決なのですが、なぜ、ご祈禱をするのか、なぜ厄年なのかを少しお話ししましょう。

人の一生にはそれぞれの節目があり、その節目を自覚して生活すると、どんな困難にも負けない張のある幸せな一生が過ごせるといわれています。竹も節があるから重い雪をも跳ね返し寒い冬でも青々と生きています。もし節がなかったら簡単に倒れてしまうことでしょう。節目を自覚する方法として最もよいも

のが、厄除け祈禱とか、七五三やお宮参りなどのお祝い祈禱です。神前で元気でいることに感謝し、これからも守護くださるようにお祈りします。特に生島様、足島様は、すべて物を生み育み、満ち足らしてくれる日本国土のエネルギーなので、そのご神徳は無限の力をもつて皆さんを守ってくれる事でしょう。

厄年の基本は男の二十五歳・四十二歳、女の十九歳・三十三歳といわれています。この年の前後が前厄・後厄となります。三年続けて節目を確認するわけです。これは婚姻、子育て、社会での役職の昇進時期と深く関わっています。仕事の増量や個人にかかる負荷を厄と考えると厄は役と同じ意味と捉えることができます。時代が進んで高齢社会になると、年回りの判断もずれてきます。女性の結婚出産期を十九歳ととらえた時代とはだいぶ話がずれてきました。しかし、この男女の厄年の頃はいまでも重要な転換期と考えることができます。

現在最も重要な厄年と言えるのは、還暦六十歳で、歳祝いの筆頭になっていた年がいまでは最大の厄年になってきました。昔は、「長い間の役職ごころうさまでした、これからゆつくり過ごしてください」というお祝いの年が、第二の人生

の出発として、肉体的にも精神的にも喝を入れる年になりました。

星厄の話を、一例しましょう。易や陰陽道の思想から方角の吉凶卜ができました。東西南北とその間の八方位と中央をいれて合わせて九つの星が一定の法則で回っています。生まれた年に中央にある星がその人の星になります。生まれた時の星は中央に九年ごと回ってきます。自分の星が中央に来た年を八方塞がりの厄年といえます。

八方塞がりとはいやなひびきですが、九年ごとに自分の生き方を考える良い機会になるのです。お宮参りは、お祝いと同時に八方ふさがりの厄除けをしていることになりす。

大事なことは、厄除けとお祝いは同じ儀式だということです。結婚式というお祝いを二人にかかる悪いことを祓いやる厄除けであり、二人の苦勞を集まったひとたちが、担い合って同時に幸せになろうとする儀式なのです。

人生の節目にお祝いやお祓いをする事で、みなさんが家族そろってしあわせな一生を過ごして欲しいと日々神前に向かっております。いい年になりますように。

### 皇紀2686年 令和8年丙午歳 祝年・厄年 早見表

星厄 (以下生まれ年の方)

はっばう	大7	昭2	昭11	昭20
八方ふさがり	昭29	昭38	昭47	昭56 平2
一白水星 全方位	平11	平20	平29	令8
きもん	大13	昭8	昭17	昭26
鬼門	昭35	昭44	昭53	昭62
四緑木星 北東	平8	平17	平26	令5
うらきもん	大10	昭5	昭14	昭23
裏鬼門	昭32	昭41	昭50	昭59
七赤金星 南西	平5	平14	平23	令2
さいは	大11	昭6	昭15	昭24
歳破門	昭33	昭42	昭51	昭60
六白金星 北 (年による)	平6	平15	平24	令3
かんきゅう	大11	昭6	昭15	昭24
坎宮	昭33	昭42	昭51	昭60
六白金星 北	平6	平15	平24	令3

前厄・本厄・後厄・還暦 (以下生まれ年の方)

	前厄	本厄	後厄
男性	平成15年 昭和61年	平成14年 昭和60年	平成13年 昭和59年
女性	平成21年 平成7年 平成3年	平成20年 平成6年 平成2年	平成19年 平成5年 平成元年/昭和64年
還暦 (男女)	還暦前厄 昭和42年	還暦大厄 昭和41年	還暦後厄 昭和40年

功詳しいご案内は 祝年・厄年当り年の方は 神社暦 (300円) をどうぞ 御祈願・お祓いをうけましよう

祝年 (以下生まれ年の方)

古希 70歳	昭和32年	卒寿 90歳	昭和12年
喜寿 77歳	昭和25年	白寿 99歳	昭和 3年
傘寿 80歳	昭和22年	茶寿 108歳	大正 8年
米寿 88歳	昭和14年	皇寿 111歳	大正 5年

祝年 (以下生まれ年の方)

祝年	満年齢	数え年
成人祝	20歳※	男女 平成18年※ 平成19年※
十三参り	13歳	男女 平成25年 平成26年
七五三(帯解)	7歳	女の子 令和元/平成31年 令和2年
七五三(袴着)	5歳	男の子 令和3年 令和4年
七五三(鬘置)	3歳	男の子女の子 令和5年 令和6年

※成人祝は (満 / 数え) 18 歳以上の方も出来ます

最高の厄除けの方法は節分の豆まきです。厄年にあたる人は大勢ご参加ください。なお星厄、厄除けなどで詳しいことをお知りになりたい場合は気軽に宮司お尋ねください。





巫女  
清水 彩加

六月の「夏越の祓」を経て、七月から九月にかけて行われた夏詣。  
今年も多くの方が参拝に訪れ、境内は夏らしい彩りとにぎわいに包まれました。

**SNSフォトコンテスト**  
(7月1日～8月31日)

テーマは「夏の神社で見つけた美しい景色」。  
今年も昨年よりも多くの方に「ご参加いただき、風鈴や夕暮れ、浴衣姿など、それぞれの目線で切り取られた夏の神社」が並びました。どの作品からも、境内で過ごすひとときの涼やかさが伝わってきました。

**風鈴小道**  
(7月7日～8月31日)

今年から「奉納風鈴」も始まり、たくさんの方に「奉納をいただきました」。  
参道いっぱいになつて、音色が、夏空の下を歩く人々の心を和ませてくれました。



**祇園祭**  
(7月26日・27日)

宵祭では三頭獅子舞が勇ましく奉納され、翌二十七日には子ども神輿・大人神輿が境内を巡り、信州TWAOOの太鼓の響きが夏空に広がりました。地元小学校六年生による浦安の舞も奉納され、地域の皆さまの笑顔が集う二日間となりました。

**かみほとナイト**  
(8月8日)

生島足島神社と長福寺による合同肝試しは、今年で二回目の開催。  
長福寺では貴重な地獄絵図のお話、生島足島神社ではお盆にまつわるお話があり、謎解きとともに忘れられない夏の夜となりました。

**夜間参拝**  
(8月9日～11日)

竹灯籠の灯りが加わり、夜の境内が幻想的に照らされました。  
雨の日には飾り方を変えながらも、訪れる方々に楽しんでいただける三夜となりました。

信州TWAOOの太鼓に加え、シンキングボウルや舞の奉納も行われ、夏の夜を彩る音と光が響き合いました。



**七夕・灯ろう展示**  
(7月26日～8月6日)

地元の園児の皆さんが牛乳パックで作った灯ろうが並び、温かみのある光で境内を彩りました。

**巫女体験**  
(8月3日)

第二回目となる巫女体験では、「豊栄の舞」を体験していただきました。  
参加した皆さんの真剣な表情が印象的でした。

**神賑祭**  
(9月20日)

夏詣の締めくくりとして行われた神賑祭では、歌やプラスバンドの奉納演奏で境内が賑やかに。



また、フォトコンテストの表彰式も行われ、夏の思い出を振り返る温かな時間となりました。  
入賞作品は来年のカレンダーにも掲載予定です。どうぞお楽しみに。

**境内環境整備**



祭典部長 土屋 秀幸

**神池の水抜き**

神池の水を抜き、池内の清掃を行いました。



**枯れ木の伐採**

枯れ木の落下の危険があるため、枯れ木・枯れ枝の伐採を行いました。



# 山崎宮司 就任披露パーティー



令和六年十一月一日生島足島神社の新宮司として山崎洋文宮司を迎えました。それに基づき、令和七年五月二十七日にて就任披露宴を行いました。神社関係一五〇人、行政関係二〇人、宮司知人に加え、山崎宮司は筑北村図書館長や保護司、調停と七色の名刺を持つ男ですので総勢約二〇〇人が集まり、盛大な就任披露宴になりました。神職の方だけでも七〇人も集まる印象な光景に加え、保護司の住職さんが集まり、神仏集合とはまさにこのことか!と思う景色が私の目に写りました。

ここで少し山崎宮司の経歴を紹介します。

昭和五十三年に松本市の四柱神社で神職として歩み始められ、白山神社や諏訪神社など、県内各地の神社で長年にわたり奉仕してこられました。

また、神職としての奉仕にとどまらず、長野県神社庁の教化講師として指導にあたるほか、家庭裁判所の調停委員、保護司、図書館長など、地域社会に深く関わり、多方面でご尽力されています。これまでの功績が認められ、文化



庁や長野県などから数々の表彰を受けておられます。

非常に多くの方に御参加頂き、私も職員の一員としてその日を誇らしく感じました。



巫女  
樋口真衣





就任披露宴の準備に携わった一人として、会場選びから招待状の作成、当日の運営に至るまで、多くの方々のお力添えをいただきながら進めてまいりました。準備は大変でしたが、式当日は地域の皆様の温かな笑顔と祝福の雰囲気にも包まれ、これまでの苦労が報われる思いでした。晴れやかで厳かな中にも温かさを感じられる素晴らしい式とな

り、改めて地域の皆さまに支えられていることを実感いたしました。就任披露宴が無事に終えられたことを心より嬉しく思うとともに、生島足島神社が新たな歩みを進める節目に立ち会えたことを大変光栄に感じております。

山崎宮司はじめ職員十二名と工藤総代長率いる総代十九名の新たな体制のもと、これまで以上に地域の皆様に親しまれ、心の拠り所となる神社であり続けられるよう、職員一同努めてまいります。

今度とも変わらぬご崇敬とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





# 十二月～四月までの祭事・行事予定

月次祭 つきなみさい

(毎月朔日 午前九時) 一月は齋行しない

## 十二月

十三社例祭 じゅうさんしゃれいさい

(十二月二十五日 午前十時)

古神札(神符守札) 焼納式 こしんさ

つ(しんぷしゅさつ) しょうのうしき

(十二月中)

十二月の大祓式(師走の祓) じゅうに

がつのおおほらいしき(しわすのはらえ)

(十二月三十一日 午後二時)

越年除夜祭 えつねんじよさい

(十二月三十一日 引き続き)



## 一月

歳旦祭 さいたんさい

(二月一日 午前七時) 正月元旦

御門祭 みかどまつり

(二月八日 午前八時)

荒魂社例祭 あらみたましゃれいさい

(二月八日 午前九時)

御筒粥卜(占) 神事 おつつがゆうら

ないしんじ

(二月十四日 夜 御籠祭後引き続き)

御筒粥卜(占) 奉告祭及葦目鳴弦並蛙

狩神事 おつつがゆうらないほうこく

さいおよびひきめいげんならびにか

わががりしんじ

(二月十五日 午後一時) 旧成人の日

## 二月

節分追儼祭 せつぶんついなさい

(二月三日 午後二時)

会員年度表彰 鬼やらい豆撒き

(午後三時頃)

紀元祭並神位祭 併祈年祭

きげんさいならびにしんいさい

あわせてきねんさい

(二月十一日 午前十時)

建国記念の日

天長祭 てんちようさい

(二月二十三日 午前十時)

天皇誕生日

## 三月

神社総代就任奉告祭並委嘱書交付式

じんじやそうだいしゅうにんほうこく

さいならびにいしよくしよこうふしき

(三月上旬)

秋葉社例祭 あきはしれいさい

(三月二十六日 午後四時)



## 四月

御遷神事(諏訪様還座祭) おうつり

しんじ(すわさまかんださい)

(四月十九日 夕闇)

撰社諏訪神社(下宮) 例祭 せつしゃ

すわじんじや(しものみや) れいさい

(四月二十日)

御本社春季祭(上宮) しゅんきさい

(かみのみや)

(四月二十日 右例祭に引き続き)

昭和祭 しょうわさい

(四月二十九日 午前九時)

昭和の日

# 新任のあいさつ



出仕  
横山実早紀

十月より出仕として奉職することとなりました横山実早紀と申します。

平成二十三年よりご巫女として奉仕しておりましたが、この度機会をいただきまして、神職として新たに出発いたします。神職の資格取得の為に勉強する中で改めて気づく事も多く、またご神前での作法等はまだまだ覚えな所ばかりで、日々至らなさを痛感しております。先輩神職の皆さんに教えていただきながら、一日でも早く立派な神職になれるよう頑張りたいと思います。

また資格取得にあたっては、八月から一か月渋谷の國學院大學で学ばせて頂きました。その間留守にしてしまうにも関わらず、気持ちよく送り出してくださいました職員・総代の皆様には感謝の思いでいっぱいです。

皆様にお仕えするという緊張感を持ち、また支えてくれる皆様や、様々なご縁をいただけた事に感謝を忘れず、日々奉仕していきたいと思っております。

まだまだ学ぶことの多い身ですので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

# お正月の案内

今年の夏は猛暑日が続き、ようやく過ぎしやすくなったと思えば今度は急に寒くなったりと、気温の変化に戸惑う日々が続いています。この神社便りが発行される頃には本格的な冬を迎えている頃でしょうか。

来年は午年ですが、皆さんは馬と言うとどんなイメージを持ちますか？馬は力強く大地を駆けることから、活力が湧き飛躍の年と言われています。また「幸運が駆け込んでくる」物事がうま(馬)くいく」など言われる年でもあります。

当社では十二月三十一日深夜の二年参りから一月十五日の小正月までをお正月の大きな区切りとし、大晦日から縁起物や干支に因んだ御守を授与いたします。授与所の開所時間は、大晦日の二年参りは二十三時頃～一時頃、元旦は朝六時～夜二十一時を予定しております。また二日三日も朝七時～夜二十時と、普段より長く開けておりますので、ゆつくりとご参拝ただければと思います。また混雑防止の為、授与所など通常と場所を変更している箇所がございます。詳しくは神社ホームページ

や公式インスタグラムを確認ください。

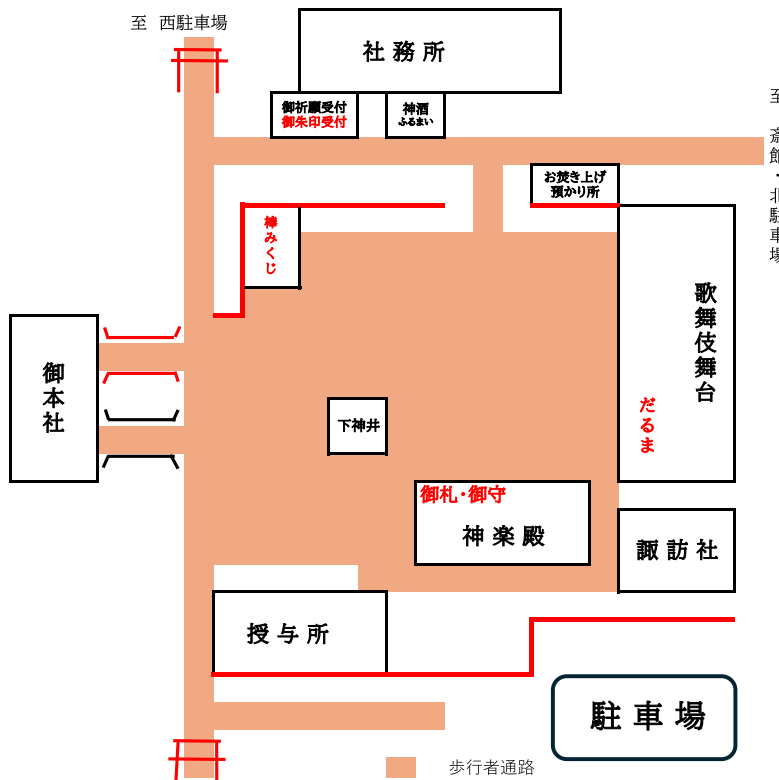
またこの期間は毎年恒例の副だるま市があり、ご希望の方にはその場で目入れ・巫女による鈴祓いを行います。当社でだるまを授与するのはこの期間のみとなっておりますので、ぜひお越しください。(副だるま市は状況によって早めの時間に閉まる場合がございますので、午前中の参拝がおすすめです)

境内では御札御守や縁起物のお焚き上げも承っております。縁起物をお預

かりできるのは一年でこの期間のみとなりますので、ご希望の方は忘れずにお持ちください。近年では誤ってお財布など大事な物を一緒にお焚き上げに出してしまうというトラブルも増えておりますので、お出しいただく際は今一度ご確認ください。

他にも御神酒の振る舞いや新年の御朱印など、皆様に喜んでいただけるような物を企画しております。新年のお参りはぜひ生島足島神社へお越しください。職員一同お待ちしております。

## 案内略図



至 齋館・北駐車場

至 西駐車場

歩行者通路



# 縁起物のご案内

新しい年の干支は「午(うま)」です。

馬は力強く駆ける姿から「福を運ぶ」「物事が順調に進む」といわれ、古くから幸運の象徴とされています。まっすぐ進む姿には「努力が実を結ぶ」「新しい道が開ける」といった前向きな意味も込められています。新しい年に向けて良いスタートを切りたいという方にはぴったりの干支ですね。

干支にちなんだお守り・縁起物も充実しております。レース生地のお守りや、可愛らしい干支の土鈴、干支付きの破魔矢やおみくじなど、新年に彩る授与品を多数ご用意しております。



数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにお越しください。

正月から新規授与品を紹介します。

今年の夏に大好評だった「ひまわりの刺繍守」に続き、「梅の刺繍守」が登場します。

梅は寒さの中でも花を咲かせることから「希望」や「再生」を象徴する花。優しい色合いの刺繍が心を和ませ、年の初めのお守りとしておすすめです。

ころんとした形が可愛い「勾玉型鈴守」は「開運・厄除・魔除」の意味を持つお守りです。

勾玉は古くから身を守る力があるとされ、音の鳴る鈴守として「熊よけ」にもぴったりです。

こちらもぜひ合わせてお受けください。

来年も皆さまの一年が穏やかで健やかなものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

# 新年福ダルマ授与について

生島足島神社の新年福ダルマは、一般の販売店のダルマと異なり、ご祈祷・お祓いして、御神札・福章と合わせて授与致します。

## 取扱時間

- 元旦～五日 朝八時 ～ 午後五時頃
- 六日～十五日 朝八時半 ～ 午後五時頃

(注意：終了時間は天候等状況により異なりますので午前中の参拝をお勧めいたします)



# 生島の杜 そば処

生島の杜は、年末の厄払い・年始の厄除け後のひと時を、心からのオモテナシで、ゆっくりお食事ができるよう努めて、皆様のご来店をお待ちしております。

そば処 生島の杜 1838-8867



コピー 1月31日まで 無料券

- コピーは無効
- 12月30日～1月8日は使用できません

# 写真室からのお知らせ

写真室では成人式のお写真・振袖レンタルをお受けしております。お早めのご予約をお勧めいたします。また、卒業式の着物・袴のレンタルもございます。節目の記念はぜひ、お写真を残しましょう。



夢うさぎ写真室 1822-0186 1822-7533